

○ 石川県産はばたんフェアの開催

平成22年12月4日(土)、金沢駅と近江町市場において、生花小売店と連携してはばたんの産地フェアを行いました。当日は生産者が店頭でPRを行ったほか、はばたんの多



石川県産はばたんフェアの様子

様な飾り方を提案するための花束やフラワーアレンジメントの展示販売や花束のプレゼントを行いました。



はばたんを用いたアレンジメント

○ はばたんウェディングフェアの開催

平成22年12月12日(日)、結婚式向けの需要拡大を図るため、金沢市内のホテルと連携して、はばたんを用いたウェディングフェアを開催しました。

はばたんは、キリスト教式の雰囲気合うように、小輪のものを緑色の外葉を外してブーケや会場装飾に用いられ、従来のはばたんのイメージを一変させることができました。

また、結婚式を挙げるカップルに対して、はばたんを用いたブーケの特別価格での提供や、エントランスでははばたんアレンジメントの展示、ホテルで開催された地元飲食店・旅館業者の会議における県産はばたんのPR等、はばたんの需要拡大に向けてホテルと連携を図りました。



はばたんウェディングフェアの様子



はばたんを用いたブーケ

協会の活動紹介

第6回 石川県花き品評会及び表彰式を開催

平成22年7月26日(月)~28日(水)、第6回石川県花き品評会(夏・旧盆向け花きを対象)を金沢駅前のANAクラウンプラザホテル金沢において開催し、小ぎくやトルコギキョウを中心に3部門で合計79点の出品がありました。

その結果、最優秀賞は、ニューサイランを出品された、宝達志水町の野村 清志氏が受賞されました。

また、特別賞は、一般消費者による人気投票で首位となったトルコギキョウを出品された、白山市の山田 峰雄氏が受賞されました。

品評会表彰式は、平成23年3月16日(水)、県農業総合研究センターで開催され、県生産流通課奥本課長、全農石川県本部園芸

課北本課長、金沢総合花き株式会社畑下社長、株式会社金沢花市場村松社長、当協会松浦会長から8名の受賞者に賞状と副賞が授与され、来賓を代表して奥本課長から祝辞が述べられました。



品評会の様子

賞名	入賞者氏名	受賞品目	所属部会
最優秀賞	石川県知事賞 野村 清志	ニューサイラン	JAはくい押水花木部会
優秀賞	全農石川県本部運営委員長賞 福田 康浩	トルコギキョウ	野々市町花き生産組合
	金沢総合花き株式会社社長賞 株式会社金沢花市場社長賞 中村 重男	小ぎく	JA金沢市花卉部会
奨励賞	稲垣 稔美	ニューサイラン	JAはくい押水花木部会
	宮前 一次	けいとう	JAはくい押水花木部会
	東藤 庄一	ばら	JA小松市花卉部会
特別賞	同上 山田 峰雄	トルコギキョウ	手取花卉振興会 JA松任花き部会

全体研修会を開催

平成23年3月16日(水)、第6回石川県花き品評会表彰式に続き、全体研修会を県農業総合研究センターにおいて開催し、会員及び関係者約50名が参加しました。

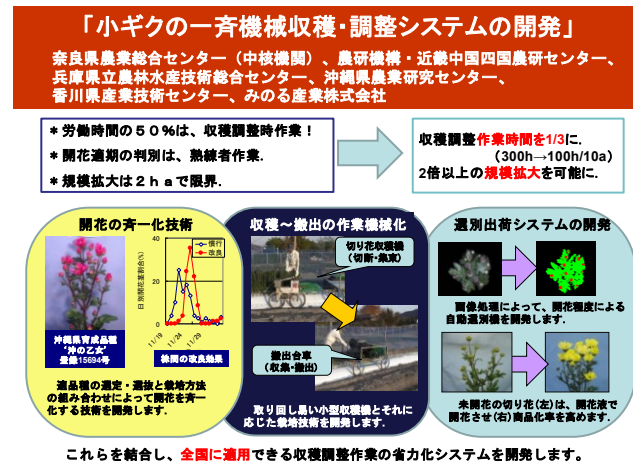
研修会は、小ぎくの一斉機械収穫体系と出荷調整システムの開発に携わられた、奈良県農業総合センターの仲 照史氏を講師に迎え、「小ぎくの省力栽培について」と題して、開花時期を斉一化させる栽培技術、一斉収穫機及び開花程度別選別機の実用化、未開花茎の

収穫後処理による開花促進技術など、労働時間を短縮して規模拡大を可能とする一斉機械収穫体系について紹介していただきました。

続いて、県農業総合研究センターの吉住 隆司氏から、「県産花きの省力栽培について」と題して、けいとうやストックの直播栽培や小ぎくの電照による2度切り栽培など、育苗や定植の省力化に向けた栽培技術や、現在研究中のペーパーポットによる簡易定植栽培について紹介していただきました。



講師の奈良県農業総合センター 仲さん



小菊の省力栽培に関する講演概要

JFTD全国大会において県産花きをPR

平成22年8月25日(水)～26日(木)、金沢市もてなしドームで開催された社団法人日本生花通信配達協会(JFTD)の全国大会において、県産花きのPRを行いました。

全国大会は、本県で43年ぶり2度目の開催で、全国から約600名の生花小売店関係者が参加し、総会やフラワーアレンジメントの競技会のほか、親子フラワーアレンジメン

ト教室や一般消費者への花束プレゼント等が盛大に行われました。

当協会は、会場装花やフラワーアレンジメント教室、花束プレゼントに県産花きを協賛するとともに、メイン会場において石川県花き園芸協会のブースを設置し、県内産地をVTR等で紹介しました。



県産花きを用いた会場装花



フラワーアレンジメント教室の様子

はばたんプロジェクト活動を実施

本県産の切り花はばたんは色付きが良いことから評価が高く、年々生産量も増えていますが、正月需要が中心のため、出荷時期が年末の一時期に限定されています。

このため、はばたんのイメージチェンジを図り、ブライダル等様々な用途に利用されることを目的として、日本花き取引コード普及促進協議会の補助事業を活用して、はばたん

の需要拡大に向けて取り組みました。

[プロジェクトメンバー]

J A金沢市砂丘地集出荷場フラワー部会 西村氏、J A小松市花卉部会 北川氏、J A全農いしかわ 岩佐氏、金沢総合花き(株) 佐藤氏、(株)金沢花市場 上山氏、県中央普及支援センター 池野氏ほか(順不同)

【主な活動内容】

○ 石川県産はばたんのロゴマーク作成
平成22年9月3日(金)～10月15日(金)にかけて、本県産はばたんのPRと需要拡大を図るため販売促進用のPOPなどに用いるロゴマークデザインの募集を行いました。県内外から合計131点の応募があり、審査の結果、石川県中能登町の松田さんの作品

が、親しみやすく広い年代層に好まれやすいデザインで、はばたんが様々な用途に発展する可能性を感じさせることから、本県産はばたんのロゴマークとして選定されました。

さらに、県産はばたんの販促を目的として、本デザインのスイングPOPを作成し、県内の生花小売店に配布しました。



石川県産はばたんロゴマーク



スイングPOPの使用風景